

公園や庭園に用いられる緑化樹木に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. カイツカイブキは、ヒノキ科の常緑広葉樹である。
2. ヤマボウシは、ミズキ科の落葉広葉樹である。
3. イロハカエデは、マメ科の落葉広葉樹である。
4. アジサイは、バラ科の落葉広葉樹である。
5. カツラは、ヤナギ科の常緑広葉樹である。

(正答 2)

日本の自然公園制度に関する次の記述A～Cの正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

- A. 近年、富士山のように一部の地域において混雑やマナー違反によるオーバーツーリズムが問題となっていることを受け、国立公園のうち環境大臣が指定した地域において公園利用者の立入りを認定制にする利用調整地区制度が創設された。
- B. 国立公園には原生的な自然が残されており、人の手を加えることは望ましくないことから、河川の蛇行化による湿原の回復、都市臨海部における干潟の再生や森づくりなど、積極的に自然を再生する事業はあえて行われていない。
- C. 日本の国立公園には多くの私有地が含まれており、農林業などの産業も行われていることから、人々の暮らしや産業などとの調整をしながら、いわゆる「協働型管理運営」を進めていくことが重要となっている。

	A	B	C
1.	正	正	誤
2.	正	誤	誤
3.	誤	正	正
4.	誤	正	誤
5.	誤	誤	正

(正答 5)